

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 8 月 19 日 (2004.8.19)

【公開番号】特開 2001-178947 (P2001-178947A)

【公開日】平成 13 年 7 月 3 日 (2001.7.3)

【出願番号】特願 平 11-365077

【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 0 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 1 日 (2003.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】遊技機

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部の電源手段からの電源供給を受けて作動する遊技機において、  
遊技中の遊技状態に関する遊技状態情報を、前記外部の電源手段からの電源供給遮断後において記憶保持可能な遊技状態情報記憶手段と、  
前記外部の電源手段からの電源投入を検出する電源投入検出手段と、  
前記電源投入検出手段により電源投入が検出されて前記遊技状態情報記憶手段に遊技状態情報が記憶保持されている場合に、遊技開始情報を報知する遊技開始情報報知手段と、  
復帰スイッチ操作の検出により前記遊技状態情報記憶手段に記憶保持された遊技状態情報に応じた遊技状態から遊技を再開させる制御を行う遊技開始制御手段と、  
を備え、

前記遊技開始制御手段は、前記復帰スイッチ操作の検出から所定時間の経過後に前記遊技開始情報報知手段による遊技開始情報の報知を終了させてから遊技を再開させる制御を行うことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、請求項 1 記載の発明は、  
外部の電源手段からの電源供給を受けて作動する遊技機において、  
遊技中の遊技状態に関する遊技状態情報を、前記外部の電源手段からの電源供給遮断後に

において記憶保持可能な遊技状態情報記憶手段と、  
前記外部の電源手段からの電源投入を検出する電源投入検出手段と、  
前記電源投入検出手段により電源投入が検出されて前記遊技状態情報記憶手段に遊技状態情報が記憶保持されている場合に、遊技開始情報を報知する遊技開始情報報知手段と、  
復帰スイッチ操作の検出により前記遊技状態情報記憶手段に記憶保持された遊技状態情報に応じた遊技状態から遊技を再開させる制御を行う遊技開始制御手段と、  
を備え、

前記遊技開始制御手段は、前記復帰スイッチ操作の検出から所定時間の経過後に前記遊技開始情報報知手段による遊技開始情報の報知を終了させてから遊技を再開させる制御を行うことを特徴とする遊技機とした。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

この請求項１記載の発明によれば、電源投入検出手段により電源投入が検出されて前記遊技状態情報記憶手段に遊技状態情報が記憶保持されている場合に、遊技開始情報報知手段が遊技開始情報を報知するので、遊技者は、停電復旧の際に遊技開始情報の報知が行われることでこれを認識でき、安心して遊技を開始（再開）することができる。特に停電という不安な状況から復旧した後だけに遊技者に適切に情報を報知することで、ホールと遊技者との間におけるトラブルを未然に防止することが期待できる。

また、遊技再開にあたって遊技者に遊技再開の十分な心構えをする余裕を与えることができる。したがって、遊技再開に対する準備がないために、遊技によって得られるべき利益を喪失してしまう可能性を低減できる。ここでいう、遊技によって得られるべき利益は、遊技価値（例えば賞球の獲得など）のほかに、遊技自体（興味を感じる機会）を含むこととする。

ところで、外部の電源手段からの電源供給開始後、遊技開始情報に関する報知を行うためにある程度の時間をかけて報知しないと、報知すべき情報が遊技者に対し十分に伝わらない可能性がある。

しかし、報知に時間を費やすとすると、報知を行う間に遊技が進行してしまい、遊技者が遊技に際して混乱を生じる可能性がある。

この請求項１記載の発明の場合、復帰スイッチ操作の検出から所定時間の経過後に遊技開始情報報知手段による遊技開始情報の報知を終了させてから、遊技開始制御手段が遊技を再開させるようにしたので、電源供給開始後のある程度の時間を、報知を行うための時間として確保することができる。つまり、このある程度の時間の間は遊技が進行せず、この間、報知により遊技が妨げられることが防止でき、遊技者が十分に報知内容を認識することができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

また、遊技開始情報の報知は、遊技機が備えるスピーカからの報知音の出力や、遊技機が備える表示手段による報知表示の出力などが挙げられる。

ここでいう表示手段には、画像表示手段（第１種のパチンコ遊技機における特図の可変表示装置など）のほか、ランプ類、ＬＥＤ等の装飾部材などの、視覚的な報知が可能なものをすべて含むこととする。

さらに、報知を行うための報知手段に対する電源供給のために、上記バックアップ電源手

段とは別途の報知用バックアップ電源手段を備えることが望ましい。このように、報知のための電源供給を別ルートにすることにより、バックアップ電源手段による電源供給の持続時間が短くなってしまう弊害を解消でき、その結果、遊技状態情報記憶手段に記憶保持された遊技状態情報が損なわれてしまう可能性を低減できる。

また、遊技開始情報の報知は、再開すべき遊技状態情報がない場合には、例えば、いつになれば遊技することが可能であるか、などといったような、単に遊技開始のタイミング等に関する情報を報知することとしても良い。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0016  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正14】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0017  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正15】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0018  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正16】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0019  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正17】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0020  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正18】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0021  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正19】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0022  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正20】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0023  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正21】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 0】

【発明の効果】

請求項 1 記載の発明によれば、電源投入検出手段により電源投入が検出されて前記遊技状態情報記憶手段に遊技状態情報が記憶保持されている場合に、遊技開始情報報知手段が遊技開始情報を報知するので、遊技者は、停電復旧の際に遊技開始情報の報知が行われることでこれを認識でき、安心して遊技を開始（再開）することができる。特に停電という不安な状況から復旧した後だけに遊技者に適切に情報を報知することで、ホールと遊技者との間におけるトラブルを未然に防止することが期待できる。また、遊技再開にあたって遊技者に遊技再開の十分な心構えをする余裕を与えることができる。したがって、遊技再開に対する準備がないために、遊技によって得られるべき利益を喪失してしまう可能性を低減できる。

また、復帰スイッチ操作の検出から所定時間の経過後に遊技開始情報報知手段による遊技

開始情報の報知を終了させてから遊技を再開させるので、電源供給開始後のある程度の時間を、報知を行うための時間として確保することができる。つまり、このある程度の時間の間は遊技が進行せず、この間、報知により遊技が妨げられることが防止でき、遊技者が十分に報知内容を認識することができる。

【手続補正 28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 29】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 30】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0093

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 31】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0094

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 32】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0095

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 33】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】削除

【補正の内容】